

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和3年度

施策コード	341	施策	健康づくりの推進
管理事業	保健推進事業	所管部局	健康医療部

1	所管室課	成人保健課、母子保健課、地域保健課	事業名	健康情報管理システム事業
事業概要				
健康情報管理システム等管理				
活動実績				
【予防接種事務に係るシステム改修による拡充】 【小児慢性特定疾病診断書データベース登録対応による拡充】		年度	R2	R3
		決算額（千円）	18,249	26,301
母子保健・成人保健・予防接種等を管理する「健康情報管理システム」の開発・更新・保守を実施するほか、法改正対応等にかかるシステム改修を実施した。 （1）健康情報管理システム再構築業務 （2）健康情報管理システム改修（小児慢性特定疾病診断書データベース登録対応） （3）健康情報管理システム改修（PHR対応） （4）健康情報管理システム改修（ロタウイルス予防接種情報追加措置対応） （5）健康情報管理システム改修（新型インフル接種情報追加措置対応） （6）健康情報管理システム改修（新型コロナウイルスワクチン対応）		一般財源の比率（％）	83.6	84.8
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題		評価の視点
		国が推進する情報システムの標準化に向けて、現行の業務プロセスの整理及び現行システムからの移行時期・方法等を検討していく必要がある。		※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☒ 持続可能性
				今後の実施計画の方向性・内容
				拡充
				現行の業務プロセスを見直し、必要十分なシステム導入を目指す。

2	所管室課	母子保健課	事業名	千里ニュータウンプラザ管理事業（保健センター）
事業概要				
千里ニュータウンプラザ施設管理				
活動実績				
千里ニュータウンプラザ内の保健センター南千里分館及び口腔ケアセンターの維持管理事業として、千里ニュータウンプラザ全体として負担する建物維持管理費用や光熱水費等にかかる分担部分の支出などを実施しました。 ・千里ニュータウンプラザに係るサービス購入料（設計・建設） 令和元年度…33,981,679円、令和2年度…33,424,880円、令和3年度…32,886,518円 ・千里ニュータウンプラザに係るサービス購入料（維持管理） 令和元年度…15,712,512円、令和2年度…16,107,452円、令和3年度…16,178,820円		年度	R2	R3
		決算額（千円）	51,928	57,201
		一般財源の比率（％）	100.0	100.0
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題		評価の視点
		保健センター南千里分館及び口腔ケアセンターが入る千里ニュータウンプラザの施設管理に係る諸費用を分担するものであり、母子保健事業及び歯科口腔保健事業の円滑な実施に必要な事業と考える。		※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
				今後の実施計画の方向性・内容
				継続

3	所管室課	母子保健課	事業名	保健センター総務事業
事業概要				
保健センター総務				
活動実績				
保健センター南千里分館における各種事業を円滑に実施できるよう、電話料金やコピー機賃借料、駐輪代、管理医師報酬の執行など当館の内部管理に関する業務を実施した。		年度	R2	R3
		決算額（千円）	2,834	2,413
		一般財源の比率（％）	100.0	100.0
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題		評価の視点
		主に吹田市北部を対象に母子保健に係る各種事業を実施する保健センター南千里分館における事業諸経費を支出するものであり、母子保健事業の円滑な実施に必要な事業と考える。		※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
				今後の実施計画の方向性・内容
				継続

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度	令和3年度
--------	-------

施策コード	341	施策	健康づくりの推進
管理事業	保健推進事業	所管部局	健康医療部

4	所管 室課	成人保健課、母子保健課	事業名	保健推進事業	
事業概要					
健康教育・相談、すいた健康サポーター、健康情報拠点推進、口腔ケアセンター運営					
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点 ※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割 □ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 □ 持続可能性
(1) 市民の健康の保持・増進を図るため、市民の自主的な健康づくりを推進することを目指して、以下のような事業を実施した。 ア 健康に関する知識の普及・啓発を目的とした健康教室・健康相談の実施 イ 自らの健康づくり・地域活動等での予防啓発推進のための「すいた健康サポーター」の養成 ウ 様々な市民が健康情報を得ることができるよう、市民が生活において頻繁に利用する施設等での健康情報の発信 ※上記ア、イについては、SNSやホームページ、web開催のイベントや感染防止を徹底した健康教室を通して、健康づくりの啓発等に努めた。 (2) 歯科口腔保健の活動推進の拠点である吹田市口腔ケアセンターの管理運営、歯科口腔保健に関する情報の発信や展示を行う吹田市口腔ケア活動推進業務、及び生後4か月から概ね1歳までの乳幼児とその保護者を対象に、赤ちゃんの歯の広場業務を実施した。 (3) たばこ対策の総合的な推進のため、平成29年5月から禁煙治療費一部助成制度を創設し、禁煙治療に要した治療費の一部を助成することで、個人が行う禁煙への取組を支援した。		決算額（千円）	8,700	8,578	
		一般財源の比率（％）	99.1	98.3	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		健康寿命の延伸に向け、市民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組むために必要な情報提供や、禁煙等健康づくりを促すための事業で、継続して実施する必要がある。また、健康に無関心な層への今後の働きかけも必要である。	
		拡充			口腔ケアセンターの機能について、地域での情報発信等の機能の強化が必要。

5	所管 室課	健康まちづくり室	事業名	健康づくり活動推進事業	
事業概要					
健康づくり活動推進					
活動実績			年度	R2	R3
【地域での事業者や団体等が連携した健康づくりへの支援による拡充】 市民一人ひとりの自主的な健康づくりを支援するため、（公財）吹田市健康づくり推進事業団が実施する事業に対し、補助金を交付した。 ・令和3年度実施事業 みんなの健康展（視聴件数…6,154件） レディース健康フェスティバル（参加者数…903人） 吹田市健康づくりフェスティバル（2021チャレンジDAY、てくてくウォーク&ノルディックEXPO）（参加者数…7,109人） 各種教室等の開催（参加者数…136人） 健康まちづくり支援事業（令和3年度新規事業）（参加者数…130人） 情報誌「健康すいた」の発行及び全戸配布（配布部数…184,261部）			決算額（千円）	28,445	29,048
			一般財源の比率（％）	100.0	100.0
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題		
			・スポーツを中心とした事業体系から、日常生活の中で自然と健康になれるよう、「運動・栄養・休養」のバランスのとれた事業体系へと改善を図った。 ・事業者や団体等の連携により地域での健康づくりが実践されるよう、人・場・情報をつなぐコーディネートを行っており、全市的に展開できるよう継続して取り組む必要がある。 ・補助事業の効果や必要性等の評価・見直しについて、「健康すいた21（第3次）」の進捗管理を行う際に、関連事業も含めて検討する必要がある。		
			評価の視点		
			※課題があるものは■		
			■ 市民ニーズ、社会的役割		
			■ 有効性		
			□ 効率性		
			□ 公平性		
			□ 持続可能性		
			今後の実施計画の方向性・内容		
			継続		

6	所管 室課	健康まちづくり室	事業名	保健推進事業	
事業概要					
「健康すいた21推進」、食育推進、たばこ対策推進、健康づくり支援、地域職域連携推進、国民健康・栄養調査、特定給食施設等指導					
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点 ※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ■ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
【喫煙者に対する効果的な啓発手法等の検討及び実施による拡充】 【健康すいた21（第3次）の策定による拡充】 (1) 健康すいた21推進 「健康寿命の延伸」と「生活の質（QOL）の向上」を目標とした市の健康施策計画である「健康すいた21（第3次）」を策定した。（推進懇談会5回開催） (2) 食育推進 ア 健康の保持増進及び生活習慣病の予防に向け、食に関する意識の向上や健全な食生活の実践を目指して、講演会を実施した。（中学生及びその保護者16組参加） イ クックパッドの市公式アカウントを作成し、低栄養予防や離乳食、地産地消をテーマにしたレシピを掲載した。（レシピ掲載数…44件、閲覧者数…約350回/日） (3) データヘルス 研究機関との共同研究により、母子保健及び学校健診データを一体的に分析し、子供と保護者の健康づくり支援に取り組んだ。 (4) たばこ対策推進 「スモークフリーシティ（たばこの煙のないまち）・すいた」の実現に向け、効果的な啓発を行うため、専門家による有識者会議を開催した。そこで得られた意見を基に、屋外の公共的空間での喫煙者の行動変容を促す実証実験や、啓発用ロゴマークの作成を行った。 令和3年度…有識者会議開催（3回）、ロゴマーク作成		決算額（千円）	1,230	4,225	
		一般財源の比率（％）	60.9	96.0	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・食生活改善等の健やかな生活習慣の形成を目指した取組を幅広く浸透させる仕組みの構築を目指して、対面による啓発に加え、多職種で連携した取組の推進や、健康医療情報を効果的に利活用できる仕組みづくりが必要である。 ・「スモークフリーシティ・すいた」の実現に向け、一層推進していくためには、市民や事業者と連携し、機運醸成を進めていくことが必要である。			今後の実施計画の方向性・内容 拡充 健康医療情報を効果的に利活用できる仕組みづくりが必要。

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名